

目 次

2002 年度

I. 共通教育科目：密教美術の世界	3
1. パーラ朝期の密教美術	3
2. 日本の密教美術の源流？	5
3. パンテオンの構造	8
4. 画一化するイメージ	13
5. 仏塔と宇宙	19
6. 再生する宇宙	24
7. マンダラとは何か	29
8. マンダラと儀礼	35
9. 密教の仏たちはヒンドゥー教の神と敵対したのか	41
10. まとめと展望	46
II. 仏教学特殊講義：インドと日本の仏教儀礼	51
1. 儀礼をどのようにとらえるか	51
2. 聖と俗の接点：プージャーと十八道次第	54
3. 聖なるものとの交歓：ホーマと護摩	59
4. 宇宙の開闢：建築儀礼とマンダラ製作儀礼	63
5. 人生という円環：サンスカーラと通過儀礼	66
6. 死と再生の儀礼：灌頂・完成儀礼	68
7. 個の超越：成就法と念仏・臨終行儀・迎講	71
III. 仏教文化論：インド仏教美術の諸相	74
1. イントロダクション	74
2. パールフット：仏陀なき仏伝図	75
3. サーンチー：前世の物語	80
4. ガンダーラ①：永劫回帰の物語	84
5. ガンダーラ②：大乘菩薩信仰	88
6. マトゥラー：礼拝像の誕生	91
7. 仏たちの世界：日本の仏教美術から	94
8. アマラヴァティー：仏塔信仰の諸相	98
9. アジャンタ：石窟寺院の荘厳	101
10. エローラ：大乘仏教から密教へ	107

11. ベンガル：密教美術の精華	111
12. カトマンドゥ：ヒマラヤにすむ神々	114
12. チベット：仏教美術の最先端	118
2003 年度	
I. 共通教育科目：密教美術の世界	125
1. インド密教美術への招待	125
2. インドの仏教美術の流れ	128
3. パーラ朝期の密教美術	133
4. 日本の密教美術の源流？	137
5. パンテオンの構造	141
6. 画一化するイメージ	145
7. 仏塔と仏教世界観	148
8. 再生する世界	152
9. マンダラとは何か	156
10. マンダラと儀礼	159
11. 敵対か、融和か	163
12. 周辺から支える神々	166
II. アジアのマンダラ	172
1. マンダラを知るための基礎知識	172
2. マンダラと密教儀礼	175
3. マンダラの歴史①：初期のマンダラと胎蔵マ ンダラ	178
4. マンダラの歴史②：金剛界マンダラ	182
5. マンダラの歴史③：秘密集会マンダラと法界 語自在マンダラ	185
6. マンダラの歴史（4）：秘密集会マンダラと法 界語自在マンダラ（補遺）	189
7. マンダラの歴史（5）：母タントラのマンダラ	193
8. マンダラの歴史（6）：時輪マンダラ	195
9. 中国のマンダラ：中国密教と法門寺	198
10. 日本のマンダラ①：両界マンダラの系譜	201

11. 日本のマンダラ②：別尊曼荼羅と修法	204	2004 年度	
III. 仏教学特殊講義：アジアのマンダラ	207	I. 共通教育科目：密教美術の世界	299
1. チベットのマンダラ①：ラダック	207	1. インド密教美術への招待	299
2. チベットのマンダラ②：ギャンツェのベンコ ル・チョルテン	210	2. インドの仏教美術の流れ	302
3. チベットのマンダラ③：ゴル寺のマンダラ集	214	3. パーラ朝期の密教美術	305
4. チベットのマンダラ (4)：図像集と集会樹	218	4. 日本の密教美術の源流？	309
5. ネパールのマンダラ①：主要な現存作例	221	5. パンテオンの構造	312
6. ネパールのマンダラ②：寺院構造への投影	225	6. 画一化するイメージ	315
7. インドネシアのマンダラ①：ポロブドゥール	228	7. 画一化するイメージ (続き)	318
8. インドネシアのマンダラ②：ブロンズ製の立 体マンダラ	230	8. 仏教世界観	321
9. アジアのマンダラにおける日本の位置づけ①	232	9. 再生する世界	324
10. アジアのマンダラにおける日本の位置づけ②	235	10. マンダラとは何か	327
11. ユングのマンダラ理解：元型とマンダラ	238	11. マンダラと儀礼	331
IV. 仏教文化論：密教仏の研究 大日と不動明王 を中心に	243	12. マンダラと儀礼 (続き)	334
1. 不動明王の起源とインドにおける不動信仰	243	13. 仏教の仏と異形の神	337
2. 日本への不動の伝来と初期の図像	245	II. 仏教学特殊講義：仏教における空間論	343
3. 日本における不動図像の展開	250	1. 空間について考えること・思いつくこと	343
4. 異形の不動	256	2. 空間についてのインド的理解・日本の理解	346
5. 不動明王の眷属たち	260	3. 聖なる空間のイメージと表現① パールフット など	350
6. 五大明王、八大明王、十忿怒	264	4. 聖なる空間のイメージと表現② アジャンター	352
7. 不動と儀礼：後七日御修法	268	5. 聖なる空間のイメージと表現③ 聖なる空間の 固有表現	355
8. 不動と儀礼：護摩①	272	6. 聖なる空間の構造① コスモロジー	358
9. 不動と儀礼：護摩②	276	7. 聖なる空間の構造② 異界としての地獄	360
10. 不動と儀礼：修験道	280	8. 聖なる空間の構造③ 境界と異界	363
11. 不動の説話、大日如来の起源と展開	283	9. 経験される聖なる空間① 寺院の象徴性	366
12. アジア各地の大日如来	286	10. 経験される聖なる空間② 儀礼空間としての 寺院	368
13. 日本における大日如来像	289	11. 経験される聖なる空間③ 都市空間	372
		12. 経験される聖なる空間④ 巡礼と聖地	374
		III. 仏教学特殊講義：浄土教美術の形成と展開	378
		1. 浄土教美術の諸相	378
		2. 浄土教の成立と主要経典の内容	380

3. インドにおける浄土教美術の起源	382	9. 仏塔という宇宙②再生する世界	474
4. 中央アジアにおける浄土教美術の展開	384	10. 天界の模式図マンダラ①マンダラとは何か	477
5. 日本における浄土教の歴史	386	11. 天界の模式図マンダラ②マンダラと儀礼	480
6. 日本における浄土教の歴史（続き）	388	12. 仏教の仏と異教の神	484
7. 阿弥陀と阿弥陀三尊像	391		
8. 浄土変相図と当麻曼荼羅	393	II. 仏教学特殊講義：ヒマラヤと東南アジアの仏教美術	492
9. 聖衆来迎図	395	1. チベットの仏教美術への招待：歴史・地域・宗派	492
10. 山越阿弥陀と臨終行儀	397	2. チベット仏教美術の主題、素材、形式	495
11. 六道絵と二河白道図	399	3. チベット仏教美術の主題、素材、形式	497
12. 平等院鳳凰堂と浄土教の建築	401	4. カシミール様式と西チベットの仏教美術	500
IV. 密教の仏の世界：観音の図像と信仰を中心に	404	5. 初期の中央チベット様式とインドの密教美術	502
1. 観音・観世音・観自在	404	6. サキャ派様式の祖師図とマンダラ	505
2. インドの観音①ガンダーラ、グプタ、パーラ	407	7. ベンコル・チューデ仏塔の壁画	507
3. インドの観音②変化観音	410	8. 歴代パンチェンラマのタンカ・セット	509
4. 観音経（法華経普門品）と八難救済観音	413	9. 承徳の外八廟と明代、清代のチベット美術	511
5. 華嚴経と補陀洛山	416	10. ボロブドゥールとジャワ島の仏教美術	513
6. 日本の観音①聖観音・十一面観音	419	III. インドと日本の仏教儀礼の比較研究	515
7. 日本の観音②千手観音・不空罽索観音	422	1. 序①：儀礼の世界をのぞいてみよう	515
8. 日本の観音③馬頭観音・如意輪観音など	424	2. 序②：仏教儀礼を知るための最小限の基礎知識	517
9. 変化観音と女尊たち	427	3. 聖と俗の接点①：プージャー（供養法）の内容、形成、展開	519
10. 観音信仰と西国三十三箇所	430	4. 聖と俗の接点②：護摩、十八道次第にみられるインド的要素	522
11. 観音と神祇	433	5. 宇宙の開闢①：建築儀礼とマンダラ制作儀礼	524
12. 補陀洛渡海	436	6. 宇宙の開闢②：神話世界の再現	527
13. 観音の説話	439	7. 人生という円環①：人生儀礼と通過儀礼	529
2005年度		8. 人生という円環②：灌頂儀礼と完成式	531
I. 共通教育科目：密教美術の世界	449	9. 個の超越①：仏を生み出すテクニック 観想法・観仏	533
1. 序論①インド密教美術への招待	449	10. 個の超越②：見ることによる救い 念仏・臨終行儀・迎講	535
2. 序論②インドの仏教美術の流れ	452		
3. 源流としてのインド①パーラ朝期の密教	455		
4. 源流としてのインド②日本密教の源流？	458		
5. 源流としてのインド③日本密教の源流？	462		
6. 多様化する仏たち①パンテオンの構造	465		
7. 多様化する仏たち②画一化するイメージ	468		
8. 仏塔という宇宙①仏教世界観	471		

11. 国家儀礼から私的修法へ①：後七日御修法と鎮護国家	537	II. アジアのマンドラ・日本のマンドラ	632
12. 国家儀礼から私的修法へ②：王権儀礼・舍利・宝珠	540	1. マンドラとは何か	632
13. まとめ：ふたたび儀礼とは何かを考える	542	2. マンドラを知るための基礎知識①世界観	635
IV. 南アジアの仏教美術入門	546	3. マンドラを知るための基礎知識②仏のイメージ	637
1. 序：仏教の歴史・仏たちの世界	546	4. マンドラと儀礼①マンドラ制作儀礼	640
2. パールフット：仏陀なき仏伝図	549	5. マンドラと儀礼②灌頂と開眼儀礼	642
3. サーンチー：前世の物語	553	6. マンドラの歴史①胎藏曼荼羅	645
4. ガンダーラ①：永劫回帰の物語	556	7. マンドラの歴史②金剛界曼荼羅	647
5. ガンダーラ②：大乘菩薩信仰の萌芽	559	8. マンドラの歴史③金剛界曼荼羅（続き）	649
6. マトゥラー：礼拝像の誕生	564	9. マンドラの歴史④無上瑜伽のマンドラ	652
7. アマラヴァティ：仏塔信仰の諸相	567	10. 日本のマンドラ①空海請来本系の両界曼荼羅	655
8. アジャンタ：石窟寺院の荘厳	571	11. 日本のマンドラ②現図以外の両界曼荼羅	657
9. エローラ：大乘仏教から密教へ	574	III. マンドラから見た日本の宗教	662
10. オリッサ：日本密教の源流	578	1. 両界曼荼羅の構造と代表例	662
11. ビハール・ベンガル：釈迦からはなれる仏たち	581	2. 別尊曼荼羅①別尊曼荼羅総論	664
12. ボロブドゥール・チベット：仏教美術を俯瞰する	584	3. 別尊曼荼羅②修法との関わり	667
2006年度		4. 神道曼荼羅①本地仏と垂迹神	670
I. 共通教育科目：密教美術の世界	599	5. 神道曼荼羅②日吉山王曼荼羅の世界	673
1. 序論①インド密教美術への招待	599	6. 浄土経曼荼羅①阿弥陀如来と浄土経曼荼羅	677
2. 序論②インドの仏教美術の流れ	601	7. 浄土経曼荼羅②當麻曼荼羅	679
3. 源流としてのインド①パーラ朝期の密教	603	8. 浄土経曼荼羅③浄土図から来迎図へ	682
4. 源流としてのインド②日本密教の源流？	605	9. 浄土経曼荼羅（4）迎接曼荼羅と迎講	685
5. 多様化する仏たち①バンテオンの構造	607	10. 社寺参詣曼荼羅①参詣曼荼羅総論	687
6. 多様化する仏たち②画一化するイメージ	609	11. 社寺参詣曼荼羅②那智参詣曼荼羅と立山曼荼羅	690
7. 仏塔という宇宙①仏教世界観	612	12. まとめと展望	692
8. 仏塔という宇宙②再生する世界	614	IV. 仏教の信仰と美術：弥勒・文殊・普賢を中心に	697
9. 天界の模式図マンドラ①マンドラとは何か	617	1. 大乘仏教の若き勇者たち	697
10. 天界の模式図マンドラ②マンドラと儀礼	620	2. 弥勒①信仰と文献	699
11. 仏教の仏と異教の神①イメージの連鎖	622	3. 弥勒②神話と造形	703
12. 仏教の仏と異教の神②周辺から支える神がみ	625	4. 弥勒③救済者としての弥勒	706
		5. 弥勒（4）弥勒信仰の諸相	709
		6. 文殊①童子神の姿	712

7. 文殊②五台山文殊	714	III. 浄土教美術の形成と展開	816
8. 文殊③忍性の文殊信仰	718	1. 浄土教美術の諸相	816
9. 文殊④個の救済・社会とのかかわり	721	2. 浄土教の成立と主要経典の内容	818
10. 普賢①普賢と十羅刹女	724	3. インドから中央アジアへ	820
11. 普賢②普賢延命法	727	4. 日本における浄土教の歴史①	822
12. まとめと展望	730	5. 日本における浄土教の歴史②	824
2007年度		6. 高僧たちの物語と絵巻：法然、親鸞、蓮如	826
I. 共通教育科目：密教美術の世界	739	7. 浄土変相図から當麻曼荼羅へ	829
1. 序論①インド密教美術への招待	739	8. 来迎図と迎接の阿弥陀	831
2. 序論②インドの仏教美術の流れ	742	9. 山越阿弥陀と臨終行儀・迎講	833
3. 源流としてのインド①パーラ朝期の密教	746	10. 六道絵をめぐる	835
4. 源流としてのインド②日本密教の源流？	749	11. 二河白道図の仕掛け	837
5. 多様化する仏たち①バンテオンの構造	753	12. 平等院鳳凰堂と中尊寺金堂：浄土教建築の諸相	839
6. 多様化する仏たち②画一化するイメージ	756	IV. エロスとグロテスクの仏教美術	843
7. 仏塔という宇宙①仏教世界観	760	1. とりあえず、いろいろ見てみよう	843
8. 仏塔という宇宙②再生する世界	764	2. ヤクシャとヤクシニー：古代インドの豊穡神	846
9. 天界の模式図マンダラ①マンダラとは何か	768	3. 愛を交わすミトゥナ像：ヒンドゥー寺院の荘厳	849
10. 天界の模式図マンダラ②マンダラと儀礼	771	4. 残酷な絶世の美女：女神信仰とその造形	851
11. 仏教の仏と異教の神①イメージの連鎖	775	5. 仏伝に登場する女性：蓮華色比丘尼と提婆	855
12. 仏教の仏と異教の神②周辺から支える神がみ	779	6. 説話文学と性のモチーフ：『ジャータカ』から『今昔物語』まで	858
II. 仏教における空間論	788	7. 絵巻を見るよろこび：地獄とか病気とか餓鬼とか	862
1. 空間について考えること・思いつくこと	788	8. 地獄絵・六道絵・九相詩絵巻：日本における身体観	866
2. 理念的な空間① インドの思想・哲学	790	9. 安産法をめぐる考察：古代インドから平安時代まで	870
3. 理念的な空間② 日本仏教の考え方	794	10. 安産法をめぐる考察：古代インドから平安時代まで（続き）	872
4. 聖なる空間のイメージと表現①初期の仏教美術	797	11. 馬頭観音と愛染明王：愛と性の仏たち	875
5. 聖なる空間のイメージと表現②円環をなす時間	800	12. 秘仏を見たい：聖天、歡喜天、ダキニ天	878
6. 聖なる空間のイメージと表現③遠近法をめぐる	802	13. 密教の秘儀：立川流とチベット密教	881
7. 聖なる空間の構造①コスモロジーと輪廻図	805		
8. 聖なる空間の構造②他界としての地獄	807		
9. 聖なる空間の構造③境界と異界	810		
10. 経験される聖なる空間 寺院の象徴性	812		

2008 年度

I. 共通教育科目：密教美術の世界	893
1. 序論①インド密教美術への招待	893
2. 序論②インドの仏教美術の流れ	895
3. 源流としてのインド①パーラ朝期の密教	897
4. 源流としてのインド②日本密教の源流？	901
5. 多様化する仏たち①バンテオンの構造	903
6. 多様化する仏たち②画一化するイメージ	906
7. 仏塔という宇宙①仏教世界観	909
8. 仏塔という宇宙②再生する世界	912
9. 天界の模式図マンダラ①絵画について	915
10. 天界の模式図マンダラ②マンダラとは何か	917
11. 天界の模式図マンダラ③マンダラと儀礼	921
II. ヒマラヤと東南アジアの仏教美術	926
1. チベットの仏教美術への招待：歴史・地域・宗派	926
2. チベット仏教美術の仏たち	928
3. ラダックの仏教美術	931
4. 初期の中央チベット様式とインドの密教美術	934
5. サキャ派様式の祖師図とゴル派の絵画	936
6. ペンコル・チューデ仏塔の壁画	939
7. グゲ様式とメンリ派、ケンツェ派	942
8. 流派の出現と画面の構成原理	944
9. 承徳の外八廟と明代、清代のチベット美術	947
10. ネパールの美術	949
11. ボロブドゥールとジャワ島の仏教美術	951
12. インドネシアのヒンドゥー教美術	954
III. インドと日本の仏教儀礼の比較研究	957
1. 儀礼研究の魅力：「大地にひそむ龍」をてがかりに	957
2. 儀礼とテキスト：インド学の視点から	960
3. 聖と俗の接点：古代インドの祭式の世界	963
4. ヒンドゥー儀礼の形成：プージャー（供養法）を中心に	965

5. 密教儀礼への転換：護摩、十八道次第にみられるインド的要素	968
6. 儀礼による宇宙の開闢：建築儀礼とマンダラ制作儀礼	970
7. 神話世界の再現：仏伝から密教儀礼へ	974
8. 聖別の儀礼：灌頂儀礼と完成式	976
9. 人生という円環：人生儀礼と通過儀礼	980
10. 仏を生み出すテクニック：観想法・観仏	983
11. 見ることによる救い：念仏・臨終行儀・迎講	986
IV. 不動明王の信仰と美術	989
1. 不動明王の起源をもとめて	989
2. 日本への伝来と初期の図像：大師様、円珍様	991
3. 不動明王のイメージの確立：十九相観	994
4. 異形の不動たち	997
5. 黄不動から感得像を考える	1000
6. 不動明王の眷属たち：二童子、八大童子、三十六童子	1002
7. 八大童子の傑作 高野山金剛峯寺不動堂像	1005
8. 五大明王の中の不動	1008
9. 不動明王の宗教実践：護摩、五尊法、御修法	1011
10. 修験道と不動	1014
11. 不動にまつわる物語	1017
引用文献	1021
索引	1027